

山崎郷土叢

No. 53

54.7.15

兵庫県赤粟郡
山崎町教育委員会内
山崎郷土研究会
電話 2000

近世初頭の山崎藩(十四)

島田清

二、池田輝澄時代 (統十三)

○藩主祖母の菩提寺、青蓮寺

1、はじめに

山崎町において、池田家時代のものとして残る最も著名なものは青蓮寺である。町史にも或程度のこととは書かれているし、概要を知っていらっしやるかたも少なくないと思うが、重要なことであるから、もう少し詳しく述べてみよう。

2、青蓮寺の位置

山崎の古い町並は、最上山の東麓から南麓へ廻る段丘の上にある。この地域が、早く、弥生時代・古墳時代に

目次

近世初頭の山崎藩	： 島田清	一
郷土研究会進展の為に	： 安井清介	五
旧史跡を生かした 埋御門・角櫓・早期復元を望む	： 前田重孝	六
秋の見学旅行記と感想	： 堀口春夫	七
揖保川雑感	： 下村憲一	九
続山崎昭和年譜	： 堀口春夫	一〇
史跡部だより	： 会報部	一二
近況情報	： 会報部	一三

住居地となっていたことは、鹿沢の弥生遺跡、上寺の横穴古墳によって証明できるし、奈良時代のはじめにできた「播磨国風土記」に

「たかや 高家の里、土は下の中なり。」

高家と名曰くる所以は、天日槍命、告りたまひ

しく、「此の村は、高きこと、他村に勝れり

とのりたまひき。故、高家といふ。」

(岩波書店刊「日本古典文学大系」本「風土記」

と説明されていることでもはつきりする。

その後、中世に入ると、集落としてさらに発達し、近

世初頭には、ここに山崎城とその城下町がつくられた。そのとき、東方からくる街道を受け入れる正面がこの台地の東南部に設けられ、附近に清水が湧出するところから「清水口」と呼ばれた。青蓮寺は、この清水口を固める「清水口門」内北側の高台に建てられ、この地の守備を一手に引き受けるような形につくられている。

城下町の経営において、社寺を利用する方法は早くから考案された。实例は、各地の城下町にいくらでもある。山崎における青蓮寺の位置ももちろんその一で、いざ合戦という場合は、この境内を軍隊駐屯地に使用する意図だったのである。

3、青蓮寺の建立

近世初頭において、宍粟郡に独立した藩主のできたのは、姫路城を築いた池田輝政四男、輝澄の時代で、その創始は元和元年（一六一五）であった。

輝政の室督姫は家康の第二女、その母は、側室西郡の局（^{つばね}溢号蓮葉院）である。「徳川幕府家譜」をみると、

「御部屋西郡之方は、鶺鴒殿長門守長持の女、鶺鴒大隅守長脇の妹なり。天正年中、浜松にて奥勤め、岡崎において督姫君御誕生あり。慶長十一丙午年五月十四日御逝去。京の本禅寺に葬る。御法名は蓮葉院殿。」

と出ている。また、「幕府祚胤伝」には、

「蓮葉院殿、西郡之方、督姫君御母堂。

鶺鴒殿十郎三郎長祐女、新三

郎譜千石、芳太郎譜六百石、

鶺鴒殿藤助長忠女、内記、其外

鶺鴒殿数家譜、以貴小伝、

鶺鴒殿三郎長持女、御外戚伝、

柳宮女録

天正年中奥勤、枕席ニ侍ス、

慶長十一丙午五月十四日午剋、伏見ニ於テ頓死ス。

京都一条本禅寺ニ葬ル。蓮葉院日淨。

池田氏、播州ニ於テ青蓮寺ヲ建ツ。家士、鶺鴒氏、之ヲ奉ズ。武州伊皿子長応寺ニ於テ、下鶺鴒氏碑ヲテ、牌

ヲ置ケ。

とあって、西郡局の父に、長祐・長忠・長持の三説があることがわかる。旗下として残る鶺鴒殿新三郎・同芳太郎両家の記録では長祐、鶺鴒殿内記、そのほか鶺鴒数家の家譜では長忠、「御外戚伝」・「柳宮女録」では長持、とそれぞれ出ているわけであるが、江戸時代の武家系図として最も権威のある「寛政重修諸家譜」巻七百四十二には、長忠を「鶺鴒殿三郎長持が二男、母は今川治郎大輔義

時計・めがね・宝石

津村時計店

中央通り・☎②0355

元が妹」と出ている。すなわち、血統では、西郡局の祖父は三河西郡城主鶴殿三郎長持、祖母は今川義元の妹、父は同藤助長忠であった。

ところが、この長忠は二男であったところから一族の鶴殿十郎三郎長祐の養子となり、家康に仕えて天正十六年十二月十三日に歿した。法名を日庵という。妻は、奥平監物貞勝の女であった。

長忠と妻奥平氏との間には三男二女が生まれた。長は三郎次郎某、父に先だつて歿し、次は遠州鷲津本興寺住持となった日梅、その次は山崎左近某の妻、その次が西郡局で、末子の藤助長次が鶴殿家を継いだ。この長次は、姉西郡局の女、督姫が天正十一年（一五八三）に北条氏直へ嫁するときに供奉し、のち文禄三年（一五九四）に池田輝政へ再嫁するときにも従った。慶長十八年（一六一三）輝政が歿したとき、督姫所生の岡山城主池田忠継はまだ十六歳であったため、これに附属させられ、元和元年（一六一五）、忠継が急死したあと駿府へ帰った。寛永十三年（一六三六）、八四歳で歿している。法名は日慶、西郡局と同じく本禅寺に葬られた。鶴殿家の宗旨は、代々日蓮宗である。

西郡局が家康の側室となった年代は、今川義元が織田信長に討ち取られた桶狭間の戦（永禄三年）より数年の後であった。この時の家康は、まだ、二十歳を出たばかりで、督姫が生まれた永禄八年（一五六五）には、二十四歳であった。（督姫は岡崎城中にて出生）。

この後の家康は、織田信長と手をつないで征戦に忙しく、西郡局にも特に伝えられるほどのことが残っていない。そして、慶長八年（一六〇三）に家康が征夷大將軍となつてより三年目、すなわち、慶長十一年五月十四日正午に伏見城内で頓死した。

鶴殿家と日蓮宗は、代々密接な関係があつたが、西郡局は特に深く信奉し、僧日邵を庇護し、修業させて、日蓮宗二十一箇寺の随一である山城国愛宕郡光了山本禅寺第九代の貫頂につかせた。この関係から、西郡局の葬儀には日邵が導師をつとめ、だびに付したのち、百箇日を経た八月二十三日、遺骨を霊屋に移したのである。

この葬儀に関し、家康は、総べてを池田輝政に依頼していた。輝政の室が、西郡局所生の督姫であり、この督姫がまつり手となるのを最もふさわしいと考えたからである。輝

新才会ピアノ教室

山崎町庄能119の11
電話 ② 3686

書道用品・結納用品

志水成文堂

山崎町さつき通り1丁目
☎ ② 0547・4305

政もまた、家康の意図を察し、その負托に堪えるよう、嚴重に執行した。そして、三十五日の法要に際しては本禪寺の門前で千石千貫の施行をし、その後の年忌法要も輝政とその諸子が営んだ。しかし、姫路と京都の間は四十里（一六〇キロ）離れ、思うにまかせぬことが少ないので、輝政は、姫路に静明山青蓮寺を建立し、妻の生母の菩提を弔うこととしたのである。すなわち、慶長十一年、蓮葉院追善のための菩提所建立を幕府に願い出、城東、市川に臨む山ノ脇に建てた。この地は京街道の往還にあたり、交通の便に恵まれている。現在は、跡地もわからず、当時の規模や経営の実態を知ることができないが、輝政夫妻や諸子が関与していたことから察すると相当なものであったにちがいない。

4、開山、日教上人

青蓮寺の開山は日教上人である。特に知られるほどの実績がなかったのか、「大日本人名辞書」（昭和四十九年、同刊行会刊）には載っていないが、青蓮寺所蔵の肖像画をみると、褐色の法衣に深紅の袈裟をつけ、左手に折本の経本を持ち、巻子と折本の経本を置く机に向った姿に、いかにも法華の指導者らしい風格が感じられる。引締った頬の肉、しっかりと結んだ口、さらに、奥まったところならんらんとかがやく眼、一瞬、身の引きしまる

のを覚えずにおれない。教化の強烈さをしみじみと感ぜさせる像だ。

画幅の中央上方に「南無妙法蓮華經」、少し下った右方に「開山日教尊聖人」、同左方に「慶長十三申九月六日迂（遷）化」の文字がみえ、また、右側の下方には「信方」の朱印もおかれている。この画像が重視されるのは、慶長ごろに多く描かれた洋画の手法をもって僧侶を描出していることで、着実な写生の技術と豊かで烈しい色彩の駆使は見るものを感動させずにおかない。筆者信方が、この時代の名高い洋画家であることは、知っているらっしゃるかたも多いと思う。神戸の南蛮美術館に所蔵する池長孟氏のコレクションは、この種資料の宝庫として全国的に名高いが、県下においては、これ以外に、初期洋画の遺品を所蔵するところはない。

そうしたところ、この青蓮寺に、ポッシンと一幅の資料がのこっているというの

食料品一切卸問屋

③ 寺田商店

山崎町紺屋町・☎②0005

和洋酒・食料品

城内商店

山崎町東鹿沢・☎②0369

の上から興味をひかれるとともに、作品の優秀なことと、背後にひそむ歴史的事情に、よりいっそう重大なものがあることを注意せねばならぬ。

郷土研究会進展の為に

安井清介

学校厚生会主催による三月二十五日から二十八日まで三泊四日の「鎌倉の歴史散歩」春季教育研修旅行に参加いたしました。NHK大河ドラマの「草燃ゆる」ブームに乗って最初の二十五日は日曜日の為、小田原から伊豆箱根急行バスで鎌倉に向かいましたが、「草燃ゆる」どころか人と車が燃え盛り予定より一時間三十分おくれで、



初日の見学予定地の鎌倉五山の十二位の建長寺、円覚寺と鶴岡八幡宮、東慶寺は翌二十六日に見学することに予定が変更された程でした。鎌倉に二泊して神社は四社、寺院十三ヶ寺、その他史跡六ヶ所を見学いたしました。詳細については次号に掲載したいと思えます。

私達日本人がわが国の歴史を愛する心は畢竟郷土を愛する心につながるものですが、郷土を愛し郷土の遺産を大切に考え郷土の将来を想う人達を一人でも多く増やす為に、私は次の二点を提案しますので企画部に於て充分御検討の上、実施下さるようお願い申し上げます。

一、郷土史を歩く会

前に千本屋廃寺跡、宇原古墳めぐり等も実施されましたが、残念乍ら支障があつて参加できませんでした。他にもこのような方もあろうかと思えますし「歩こう会」と合同の計画で氣候のよい春秋にピクニックを兼ねて実施されたら参加者も多いと思います。そこで歩いてまわるコースは年二回程度、乗物利用のコースは年次的に年一回程度で実施されてはどうでしょうか。次にコースの案をあげてみます。

1. 旧山崎町内コース
 2. 城原地区コース
 3. 神河地区コース
 4. 菅野地区コース
 5. 萬沢地区コース
 6. 安富町コース
 7. 一宮町コース
 8. 波賀町コース
 9. 土万三河千種町コース
 10. 新宮町竜野市コース
 11. 佐用郡内コース
 12. 赤穂市相生市コース
- 今までに実施されていないコースを先にしてその後また実施されたコースも幾分前回と変更して実施していただければ年々実施していくことができると思えます。

美術・工芸・画材 いとう画廊

山崎町出水町通り
☎ ② 0371

てられると思います。
会にしたいものです。

二、月例懇談会
郷土研究に関して堅苦しい会
なくどんなことでも気楽に話し合
う雑談の会を月一回土曜日の夜に
開催して、今後のことについて何
でも話し会えば自ら郷土研究会の
在り方とか将来の希望などが生ま
れてくることと思われれます。会員
を増やすことについても対策が樹
を免に角郷土研究会の進展に役立つ

旧史跡を生かした

埋御門・角櫓早期復元を望む

前 田 重 孝

山崎郷土会報を刊行されるにあたり所見を申述べ会員
諸兄の御検討をお願い町あげて史跡を生かした埋御門及
び角櫓の復元を町が計画されている本多公園建設計画と
共に一日も早く実現する様望むものであります。

山崎町には古い伝統と歴史があり、数多くの史跡があ
る、こうした史跡を後世に伝えるのとしてゆく事が我々会

員の務めでもあります。
の増員に努力すると共に
集まる事業計画をたてて
会員増につとめたいもので



しばしば
になり、
門角櫓の
まりつつあります。

復元を強く望む声は高

郷土研究会だけでなく、この問題に関係のある団体が
よく話をされ、検討されて広く町民に呼びかけこの声
の輪をひろげて埋御門角櫓復元協議会（仮称）をつくり
町当局と共に進めて行く事が早期復元への近道ではない
かと考えます。

こうした考えは夢で終る事なく実現したいものです。
会員諸兄はどう考えられますか御指導をお願い申上げま

尚、一層の会員数
青壮年層の関心が
実行し、巾広い
す。埋御門、
角櫓の復元は
町当局は勿
論、商工
会観光協
会郷土
研究会
に於い
ても
埋

埋

す。

秋の見学旅行記と感想

堀 口 春 夫

昨秋十一月十九日郷土研究会一行は大型バス一台で、西播観光都市コースの一環として浮び上って来た隣接の竜野市・赤穂市・日生町等を見学して帰りは相生・室津七曲りをドライブして帰省致しました。文学の町、竜野市は、郷土史家内海氏の案内で、赤とんぼ荘、哲学者三木清、詩人三木露風等の文学碑や霞城館内の遺墨展示品等をつぶさに見学して、さすがに文学の町、詩人の故里を感慨深く脳裏にきざみ込んだ。又竜野城の復元ぶりは目覚ましいものがあり、白亜の城壁、角櫓、埋門、竜野藩御殿の復元等々、又格子戸の続く町並は、目ざわりになる電柱まで取除き城下町一色にぬりつぶされようとしている。観光パンフレットもどしどし増刷されてピールにアールにつとめているかいあって、最近観光都市の脚光を浴びてマイカー族の観光客がぞくぞく訪れている。最近日本の画一的近代都市の建築物に見あきた現代人はかえって古い静かな城下町に郷愁を覚えるのであろう。義士の町赤穂は言うに及ばず、年中大型バスの観光団がぞ

くぞく訪れている。駅前には近日上映の赤穂城は燃えて御座る、とセリフ入りの萬屋錦之助の大石姿の看板が大きく出ていてさすがに忠臣蔵一点賑りの町を思わせる。一同は駅前食堂で昼食を取って、食堂の案内人に携帯マイクで義士の旧跡を案内してもらった。大石邸の長屋門も改修復元がほぼ完成していた赤穂城搦め手の石垣も今積変工事されている模様。それからバスは浜国道を西へ走って日生の漁港へと向った。日生町も最近では密柑狩や新鮮な魚市で観光客を引きつけている。こんな小さな港町にもマイカー族は遠くから魚を買いに来るとみえ、せまい市場の駐車場がごったがえしていた。又此の様な魚臭のただよう町に珍らしくインカコレクションの会館があるのも異色であった。インカ帝国の古代文化の展示品を見ているうちには、やはり知らず知らず古代人の次元に誘い込まれて行くのも不思議である。帰りのバスは風光明媚の室津七曲りを巡ぐって帰途についたのであるが、私は

純喫茶

エンゼル

山崎町山田・☎②0909

毎日の健康に
玄米入食パンを!!

松原商店

中央通り・☎②0077

バスの中でも色々と瞑想にふけた。今提案されている西播観光コース一環の途上には山崎も含まれているのである。姫路・竜野・赤穂・千種川グリランドを経て船越るり寺山崎インター福崎と、併し返り見て山崎にはこれ等観光客を引きつける何があるであろうか。いささかがつかりせざるを得ない。さつきの花はほんの一時期に過ぎない。山崎の町は竜野・赤穂と同じ頃、同じ位の大名によって町造りされた城下町であった。山崎は元和元年池田輝澄の鹿沢城築城の縄張りによって町造りされた城下町であるが、家康の孫であり乍ら残念ながら元和武の築城制限で城は小規模に造られ、又六万三千石の池田氏や五万石の松平氏が長続きせず、漸次衰退して一万石の本多氏になってからは陣屋大名に格落ちして武家町は縮小されていった。それでも明治初年迄は城郭の面影を残していたのであるが、城跡が小学校となってからは次ぎ次ぎと壊わされて行って、今は城の遺構は紙屋門一つとなってしまう。貧弱なるが故に無視されて来た此の史蹟を今のうちになんとかしなければ、郷土の歴史を語る史蹟は跡形も無くなってしまおうであろう。

山崎町誕生の発端となった記念すべき鹿沢城趾をせめて本丸の周辺だけでも石垣、城壁、角櫓と城の形ちを復元してつくりたいのは無理であろうか。先般朝日新聞の天声人語に司馬遼太郎氏が終戦直後伊豫大州を訪れた

所、城と水と山の調和が良くとれた何とも言えない魅力のある城下町であったので、最近又懐かしさに再び大州を訪れた

所、ガツカリさせられてしまった。此の小さな城の前に

鉄筋コンクリートの文化会館が建っていて、美しい城下町のイメージをぶち壊わしていたからである。大州の住民は郷土の景観に何んと言う無感覚さであった事かと嘆いたと言う。長い間に培われた先人の文化的遺産をもっと大切にしてもらいたいものである。郷土の美しさは、郷土を離れた人の望郷の心の中にあるのかも知れない。唯便利さだけをもって無計画に建築物を建てるのは考えものである。竜野城趾の鹿島会館もその類ひである。折角復元された角櫓が死んでしまっている。史蹟地に近代建築物を建てる時は特に考慮してもらいたい。山崎も今文化会館建設予定地が論議されているが、もしも鹿沢城趾丸の内に建てるとなれば、史蹟地である事を充分考慮に入れてせめて外観だけでも城の景観に会った建物であ

和洋酒食料品販売

八百福商店

山崎町山田・☎②0413

和洋酒食料品 卸問屋

三輪又商店

TEL ②1173

株式会社 安井書店

宍粟郡山崎町山崎90
☎ 山崎②0700(代)

揖保川雑感

下村 憲 一

先日所用で妻の実家（竜野屋）に立寄り裏の揖保川畔へ出て見ますと、史跡、揖保川高瀬舟起点舟着場跡、裏に「由来、宍粟郡内で生産された薪炭、米、千種鉄等はこの兩岸の出石から高瀬舟に積込

ってほしい。例えば実質は鉄筋コンクリートであっても外観は三層位いの天守閣風にでも建てられるならば、城の遺跡も生きてくるし、山崎の名所造りが出来、町の歴史も輝やいてくる。これは私一人の夢であろうか。町民の総意が其の方向に向かわない限り、竜野市の様なまねは出来ない相談である。いずれも財政の伴う事であるから竜野の様に一期にやる事は出来ないであろうが、一歩一歩ゆっくりと計画をやする事は出来ないであろうが、一歩一歩の市町の名所歴史を見学する単なる旅行会だけでなく、郷土愛に燃えて魅力のある吾が郷土造りをする研究会であってほしいものである。

み網干港を経て高砂、大阪方面へ送られた。毎年九月十日から翌年六月十日まで舟や筏も下り帰路は白帆を上げて遡ったが、大正十二年五月十二日を最後に陸上輸送に変った」と記された石柱を見て、ふと山崎小学校の校歌の一部「我が郷土に千代も動がぬ篠の丸、流れも清き揖保川」を思い浮べました。水清き揖保川の流れの中でも風光明媚な処は、水彩画の重鎮、別車先生が生前好んで画かれた宍粟橋周辺だろうと思います。我々の子供の頃には屋形船を浮べ紅裙連を待らせて鮎狩りに打興じて居られたのをよく見たものでした。とりわけ県下百景に数えられた十二波の激流は昔から鮎の名所として有名で、鮎狩りの方法も色々あって、中でも「はね川」と云う川幅一ぱいの長い繩に岸辺の柳の枝をくくりつけ、上流から二人で引張り、その後を七・八人の人が大きな長い三角形の叉手網で跳ね上る鮎を掬い取る方法は誠に珍らしく面白く感じたものでした。この辺は子供の水泳場で上級生に連れられ泳ぎを教えられたものでした。又、宍粟橋附近は約二十軒上流の一宮町から大きな丸太を組んで河口の網干まで流す筏の休み場所になっており、よく十二波の激流を流れる筏を見たものでした。又対岸の愛宕山は遠く天正の昔、長水城の軍師、下村丹波守則長の居城、聖山城跡で山上よりの眺めは実に美しく風光絶佳、他に類を見ないものと思えます。この揖保川は水質が良

楠風閣式場指定店
 農協会館

婚礼出張 堀口写真館

山崎中央商店街・☎②0934

いのか、下流の新宮辺では素麺「掛保の糸」の生産地として知られ、又、竜野の淡口醤油はあまりにも有名です。

続山崎

昭和年譜

堀口 春夫

昭和三十一年 三河分町問題紛糾す。宍粟郡酪農振興計画成りホルスタイン乳牛続々入る。新町の財政基盤確立、予算一億三百六十四万円、郡北町村合併成立し一宮町発足す。緑化推進運動最上山で植樹祭、山田町警察前にマーケット出来る。安富町新町発足す。山崎小学校八十周年記念に学校図書館落成す。九月三十日波賀町合併発足す。引原ダム工事進む。

昭和三十二年 躍進する宍粟牛生産目標四千頭、掛保川引原ダム工事の濁水に川筋漁業の補償問題重大段階に入る。坐り込交渉開始、山崎町都市計画により鹿沢路線桜之町拡張

工事始る。完成五ヶ年計画。五月一日郡最初のメーデー勤労者の祭典開きデモ行進、七月潜行三千里元参謀辻政信代議士来崎旭座に講演す。苦闘の跡むなしく三河分町問題終止符を打つ。住民の反対で難航していた伝染隔離病棟博愛病院裏に建つ。八月郡内国道二十九号線改修工事部分的に始る。十月八幡神社千百五十年祭に有志寄進の子供御輿初めて出す。山崎商工会共賛の催し出す。県巡回美術展来る。十一月引原ダム湛水式約三ヶ月で満水。十二月県同和教育振興大会山崎小学校で開く。県下各地より関係者多数集る朝日新聞平野一郎講演す。

昭和三十三年

引原ダム県立森林公園指定、ダム発電所完成す。三月郷土研究会再発足初会式を中央公民館で開く。島田清先生講演有、山崎塩田籠桶町有林で県緑化大会開き県下千余人参加、五月郷土研究会年二回の見学旅行始まる。衆議院選挙有、山崎町新庁舎建築計画成る七月起工式す。山崎安富合併不成功山崎市制の夢破れる。奇人山下真男自転車日本縦断青森に向って

昭和三十四年

郡出発。十月老人クラブ長生会結成会明源寺於開く。最上山前野道素翁銅像跡にいろは訓歌碑建つ。十月紺屋町きかくプロパン爆発で焼く。

二月のびる山陽運送東京まで路線進出、四月町立山崎幼稚園増築竣工す。県会議員選挙福田市郎氏再選、六月原しげ幼稚園長逝く。山崎商工会買物調査客足漸次都会へ流れる。六月三十日山崎町新庁舎落成す。八月納涼花火大会夜空を飾る。九月三日町会議員選挙、村上彰治町長再選。立正信用組合新店舗竣工す。町会議員報酬増額反対に町民大会開く。播磨さつき会誕生す。十月県畜産大共進会開かる於小学校庭。十二月山崎町出身の下村均氏寄贈の公会堂竣工し、十二月郡是製糸工場の閉鎖決定す。

昭和三十五年

終戦児ピークで中学校学級増、郡是製糸工場跡に工場誘致運動始る。四月四日下村記念館贈呈式挙行す。鹿沢路線桜之町県道に編入。六月播磨さつき会第一回さつき展本町福祉事務所階上で開催、国道二十九号線郡是西側を北上決定、同改修

昭和三十六年

促進期成同盟会設立。山崎図書館下村記念館に移る。七月山崎町合併五周年記念行事にミス山崎浴衣華やかに町をパレードす。県立山崎保健所元高校跡に竣工福原町より移転。八月三木武夫、河本敏夫山崎へ遊説。九月新しき商工会法に基く山崎商工会の創立、十一号、十六号台風被害甚大。十一月山崎闇斎の彫像吉川英治氏より山崎へ寄贈、衆議員選挙改選、十二月元運動場に山崎小学校新築第一期工事完成近し。十二月上水道三十周年式典。

二月高松宮様戸倉スキー場へ御来行、山崎小学校第一期工事新校舎落成式挙行。猛獣をつれた大サーカス鹿沢山治製材広場に来る。北山新太郎育英財団出来る。五月求真会の招きで妙心寺管長山田無文氏の法話下村記念館で、篠の丸に大國旗掲揚塔成る。六月各種自動車教習所千本屋に出来る。最上山登山口玉垣出来る。七月八幡神社夏祭兼てミス山崎発表と浴衣祭り町をパレードす。九月宍粟郡家畜共進会牛市場で開く、十月県巡回美術展

昭和三十七年

小学校講堂で、来年より高校進学増による学級増陳情す。十二月人気歌手三波春夫旭座に来る。

郷土出身阪神在住者の六粟会結成さる。

四月山崎開斉二百八十年祭を記念して吉川英治氏奉献の辞碑除幕式、山崎小学校が新しい試み日曜日の父親参観。八月養護施設の孤児里子心ある家庭に預る。

り寺の野猿手なづけられ観光客に人気呼ぶ。山崎統合消防団結成、八幡神社夏祭

県警プラスチックバンド町をパレードす。八月山崎商工会館福原町元保健所跡に竣工す。

農村人口の都市集中現象に山崎町人口漸減の傾向。篠の丸公園登山道に電燈つけ

山崎町野外活動のキャンプセンターに。町のおじさん主催子供ソフト大会盛んとなる。

山崎町を拠点とする内陸工業化の構想学術調査団の研究進む。金融業近畿

商事破産。新潮会創立十周年記念にお堀理跡に植樹下村記念館の周囲を美化す。

山崎町シ尿処理場船元に設置さる。山高

学級増本校二、一宮二、千種一の希望成る。

昭和三十八年

四月スーパーマー

ケットフタギ鹿沢

桜之町に出来る。

八月町長選挙に井

口光司氏当選す。

町会議員同時選挙。

十月郡是製糸工場

跡にオリエンタル

メタル東洋建材姫

路工場出来、工場誘致第一号となる。商

工会館の広場無料駐車場となる。

史跡部だより

本年度の史跡は、次の三箇所を指定、去る四月に標識を建てました。その中で、(一)の「中門の跡」につきご諒解を得たく、特にお願い致します。当初は「外堀の跡」を予定し報告しましたが、標識建設の位置が、今年中に改築をされることになり、工事の作業に支障を来たす心配ができましたため、一年延期をしなければならなくなりました。そうした関係で、来年度の予定にしております「中門の跡」を本年にし交代致しましたわけであり

漢方薬と食事指導

ドラッグストア
ひがしや

山崎町中央通り・☎20109

鮮魚・料理仕出し

中村鮮魚店

山崎町中央通商店街
電話 ② 2468(代)

カット&パーマ
婚礼着付

水川美容院

山崎町役場前・☎②0590

(戸原小学校
南百メートル
県道より東入)
解説 宇原は
郡内で最も
多く古墳が
あり、ここ
一号古墳か
ら十三号ま

ます。何とぞご諒解下さい。

(一) 史跡 山崎城中門の跡

(本町 青柳家具店東南の角に)

解説 中門は城下町から大手前に通じる中央の門で、ここから南へ外堀を渡って三の丸に入り、更に中堀の表門を通過して二の丸に入り、内堀の紙屋門を経て本丸にはいった。

この門の東方に角鷹門、西方に土橋門があり、門内にはいずれも枳形と言う広場があって、その一角に番所があった。

また鹿沢の東に黒門、南側の竜野口に新門、西の犬の馬場に鶴木門があって、以上六つの門で、三の丸への入口を固めた。

(二) 史跡 宇原古墳群 (第一号)

(三) 史跡 長水城五十波構の跡

(五十波老人ホーム門の外、東側に)

解説 長水城主宇野下総守政頼の隠居所で、周囲に堀をめぐらした構であった。

天正八年五月、羽柴秀吉の中国征伐により、攻め落されたが、構の名がこの辺の地名・姓名として残っている。

以上三ヶ所であります。来年度は蕨沢地区・菅野地区に各一ヶ所と、今年の予定でありました外堀の跡に思っております。蕨沢・菅野両地区に於ける候補地をお知らせ下さい。

(以上)

近況情報

会報部

△ 三月二十二日午後二時より千本屋遺跡発掘調査団の現地報告会が催され多数の見学者があった。又、同夜千本屋公民館でスライドによる発掘状況の説明会も催

された。

△ 三月二十五日、山崎鹿沢城跡に将来城跡公園が計画されているが、それに先立って兵庫県文化財調査団がこの夏発掘調査をする模様で、神戸女学院大学教授、生徒並びに加古川東高校教諭、生徒達が来崎し、図面上の下調査が行なわれた。

△ 郷土研究会も見学旅行と会報だけでは意義薄弱と言う声もあって、会員の有志が毎月一回ぐらい寄って月例研究懇談会を行うようにしてはと言う相談も持っています。郷土文化の発展と愛される郷土造りに専念してこそ、其会の意義があるのではないかと思われます。具体的な事は企画部と相談の上、近く発表される模様。



山陽興産株式会社

山崎事務所

山崎町鹿沢33番地
 ☎②0466・②0883・②5889